



パラマウントベッドホールディングス株式会社

2024 年 3 月期 決算説明会

2024 年 5 月 21 日

イベント概要

[企業名]	パラマウントベッドホールディングス株式会社		
[企業 ID]	7817		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2024 年 3 月期 決算説明会		
[決算期]	2024 年度 通期		
[日程]	2024 年 5 月 21 日		
[ページ数]	38		
[時間]	16:00 – 16:59 (合計：59 分、登壇：36 分、質疑応答：23 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]			
[出席人数]			
[登壇者]	2 名		
	代表取締役社長	木村 友彦（以下、木村）	
	IR 部長 兼 経営管理部長	南口 雄一（以下、南口）	

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

登壇

司会：それでは、お時間になりましたので、これよりパラマウントベッドホールディングス株式会社、2024年3月期の決算説明会を開催いたします。本日はご多忙の中ご参加いただき、誠にありがとうございます。

本説明会は、決算報告の後、質疑応答のお時間を設けております。ご質問はコントロールパネルの挙手機能、またはQ&A機能よりお受けいたします。

それでは、本日の登壇者をご紹介します。代表取締役社長の木村友彦でございます。経営管理部長兼IR部長の南口雄一でございます。

それではこれより、2024年3月期決算について、代表取締役社長の木村友彦よりご報告させていただきます。社長、よろしくお願いいたします。

決算概要



増収増益決算 売上・利益とも過去最高を更新

(単位：百万円)	2023.3 実績	予算	2024.3 実績	予算比	前期比
売上高	99,009	105,000	106,016	+1.0%	+7.1%
営業利益 (営業利益率)	13,452 (13.6%)	14,000 (13.3%)	13,818 (13.0%)	-1.3%	+2.7%
経常利益 (経常利益率)	14,139 (14.3%)	14,500 (13.8%)	15,920 (15.0%)	+9.8%	+12.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (純利益率)	9,215 (9.3%)	9,800 (9.3%)	10,622 (10.0%)	+8.4%	+15.3%

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

5

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



木村：パラマウントベッドホールディングスの木村でございます。本日はご多用のところ、弊社の決算説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

本日の主な内容は、2024年3月期の決算概要、2027年3月期を最終年度とする中期経営計画のアップデート、配当方針の見直しなどについてご説明いたします。

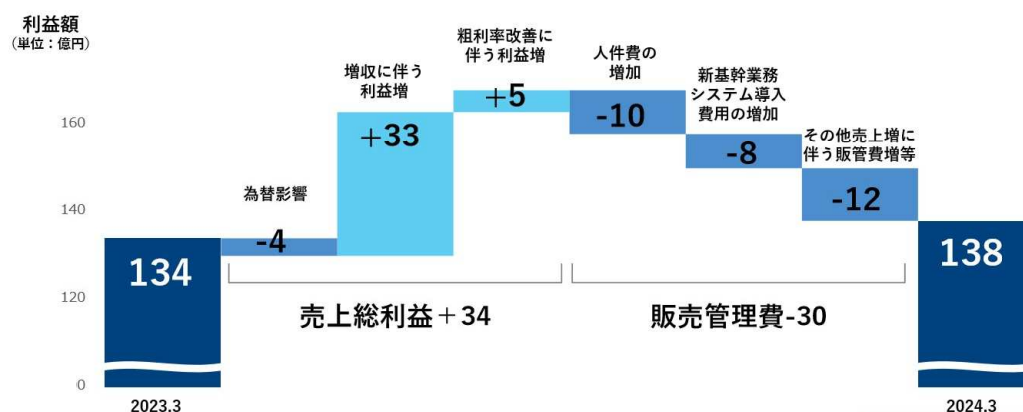
それでは、決算の概要をご説明いたします。まず、売上高につきましては、前期比7.1%増、予算比プラス1%の、1,060億1,600万円となり、創業以来初めて1,000億円を超えました。

利益につきましては、営業利益が前期比2.7%増、おおむね予算どおりの138億1,800万円となり、4期連続で増収営業増益となりました。経常利益は、為替差益の計上などにより、前期比12.6%増、予算比プラス9.8%の159億2,000万円。親会社株主に帰属する当期純利益は前期比15.3%増、予算比プラス8.4%の106億2,200万円となりました。前期に引き続き、各利益とも過去最高額を更新しました。

営業利益増減要因

PARAMOUNT BED HOLDINGS

リカーリングビジネスが順調に増加 費用増をこなし増益



© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

6

次に、営業利益の増減要因についてご説明いたします。売上総利益につきましては、為替によるマイナス影響があったものの、リカーリングビジネスの拡大や価格改定などに伴う増収効果によっ

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

て、前年より 34 億円増加しました。一方、人件費や新基幹業務システム導入費用などを中心に、販管費が約 30 億円増加しました。その結果、営業利益は 4 億円増となりました。

財務の状況



純資産77億27百万円増

(単位：百万円)	2023.3	2024.3	増減額	前期比
流動資産	97,135	95,496	-1,639	-1.7%
固定資産	75,158	84,523	+9,365	+12.5%
資産合計	172,293	180,020	+7,727	+4.5%
流動負債	26,300	24,897	-1,403	-5.3%
固定負債	17,296	19,106	+1,810	+10.5%
負債合計	43,596	44,004	+408	+0.9%
純資産	128,697	136,016	+7,319	+5.7%
負債・純資産合計	172,293	180,020	+7,727	+4.5%

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

7

バランスシートにつきましては、スライドの 7 ページに記載のとおりとなっております。純資産は 77 億 2,700 万円増加しました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



医療事業（国内）

医師の働き方改革に伴う業務の効率化・デジタル化関連がけん引 事業のリカーリング化が進展



常駐サービス契約病院数

107 病院 ➤ 113 病院 +6%
2023.3 2024.3

スマートベッドシステム導入病院数

32 病院 ➤ 46 病院 +44%
2023.3 2024.3

リカーリング取扱高（医療）

60 億円 ➤ 74 億円 +23%
2023.3 2024.3

WELL-BEING for all beings

9

次に、医療、介護、健康の主要 3 事業の業績について説明させていただきます。まず医療事業について、国内と海外に分けてご説明いたします。

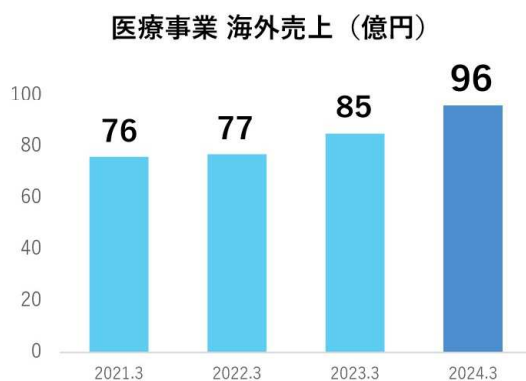
国内の売上高は、前期比 8%増、予算期プラス 5%の 310 億円となりました。国内の医療機関におきましては、医療従事者の労働環境の改善に向けた業務効率化やデジタル化、タスクシフトなどの取り組みが積極的に行われています。こうした環境において、当社が従来から注力してきたリカーリングビジネスやスマートベッドシステムなどの製品・サービスが堅調に推移しました。常駐サービス契約は 6 病院、スマートベッドシステム導入は 14 病院それぞれ増加し、リカーリング取扱高は前期比 23%増の 74 億円となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

医療事業（海外）

高機能タイプが拡大し増収に貢献



海外向けベッド販売台数

4.1万台	➤	4.0万台	-0%
2023.3		2024.3	

非連結を含むインド向け売上高

14 億円	➤	17 億円	+22%
2023.3		2024.3	

海外におきましては、中国において、期初にゼロコロナ政策明けの反動増があった他、高機能タイプの販売が増加いたしました。その結果、売上高は前年比13%増の96億円となりました。なお、当社が注力している国の一つであるインドでは、非連結を含んだ国内売上高が22%増の17億円と拡大しました。

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

介護事業（施設向け）

眠りSCANの普及が加速 クラウド型見守り支援システム「眠りCONNECT」を提供開始



眠りSCAN 年間販売台数（介護）

3.4 万台 ➤ 4.3 万台 +28%
2023.3 2024.3

眠りSCAN 累計販売台数（介護）

14.4 万台 ➤ 18.7 万台 +29%
2023.3 2024.3

眠りCONNECT契約施設数

2023.10 提供開始 ➤ 177 施設 —
2024.3

次に、介護事業について、施設向けと在宅向けに分けてそれぞれご説明いたします。施設向けにおきましては、売上高は前期比で19%増、予算期プラス14%の183億円となりました。

介護業界では、深刻な人手不足が大きな課題となっています。そのような状況の中、各自治体が見守り支援機器などの導入を積極的に推進しています。当社の眠りSCANの販売も好調に推移し、実績は前期比28%増の4万3,000台となりました。なお、病院向けには3,000台販売しましたので、医療・介護を合わせた年間販売台数は4万6,000台となりました。

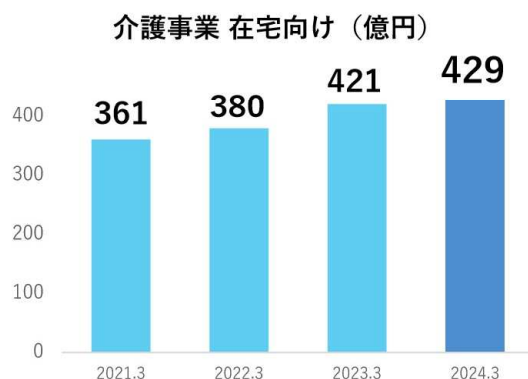
眠りSCANの累計販売台数は、介護向けで18万7,000台、病院向けを合わせたトータルでは20万台を超えました。また、昨年10月には、この眠りSCANで検知した睡眠情報などをクラウド上で管理できる新しい見守り支援システム、眠りCONNECTの提供を開始しました。システムの詳細は後ほどご説明いたしますが、3月末時点における眠りCONNECTの契約施設数は177施設となっています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

介護事業（在宅向け）

ベッド以外の福祉用具販売が拡大
レンタル卸はコロナ施設からの返却を乗り越え伸長



リカーリング取扱高（介護）

256 億円 ➤ 265 億円 +4%
2023.3 2024.3

レンタル卸利用者数

51.2 万人 ➤ 55.3 万人 +8%
2023.3 2024.3

在宅向けでは、これまで成長をけん引してきた主力ベッド、楽匠プラスシリーズの普及が進んだこともあり、ベッド販売台数は減少したものの、ベッド以外の福祉用具販売の強化に取り組んだ結果、製品販売は高水準を維持いたしました。

レンタル卸事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の分類が5類へ変更されたことに伴い、臨時施設向けに貸し出していたベッドが返却された影響があったものの、リカーリング取扱高は前期比4%プラス、9億円増の265億円に拡大しました。また、当社グループからの福祉用具をレンタル利用しているエンドユーザー数は8%増の55万3,000人と、堅調に伸びています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

コロナ5類移行後の行動変化が影響



健康事業の売上は、前期比 12%減の 22 億円となりました。コロナ 5 類化に伴い、それまでの巣ごもり需要から、外出や観光など、消費行動の変容による影響を受けました。また、昨年 10 月に新基幹業務システムを導入した際に、一部製品出荷ができず、機会損失が発生したことも影響しました。後ほどご説明しますが、この 4 月に Active Sleep の新モデルを発売いたしました。これに合わせて、PR 用の動画コンテンツを刷新するなど、プロモーション活動を強化して、再び成長スピードを加速させていく計画です。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasiasia.com

企業理念・ビジョン・中計の位置付け

企業理念

先進の技術と優しさで、快適なヘルスケア環境を創造します

ビジョン

パラマウントビジョン2030

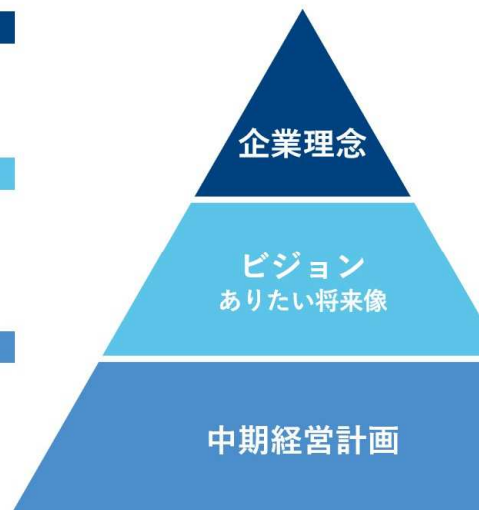
「医療」「介護」から「健康」まで、すべての人に笑顔を

中期経営計画

第Ⅰフェーズ (2020.4～2024.3)

第Ⅱフェーズ (2024.4～2027.3)

第Ⅲフェーズ (2027.4～2030.3)



WELL-BEING for all beings

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

15

それでは次に、今後の戦略と見通しについて、中期経営計画の内容を中心にご説明いたします。

先週の決算と同時に、中期経営計画のアップデートについて発表いたしました。中期経営計画の位置付けはご覧のとおりとなります。2024年3月期までを第Ⅰフェーズとして、中長期成長に向けた戦略投資期間とし、さまざまな取り組みに注力してまいりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

第Ⅰフェーズの振り返り

業績目標は2年前倒しで超過。4年連続で最高売上・最高利益を更新。

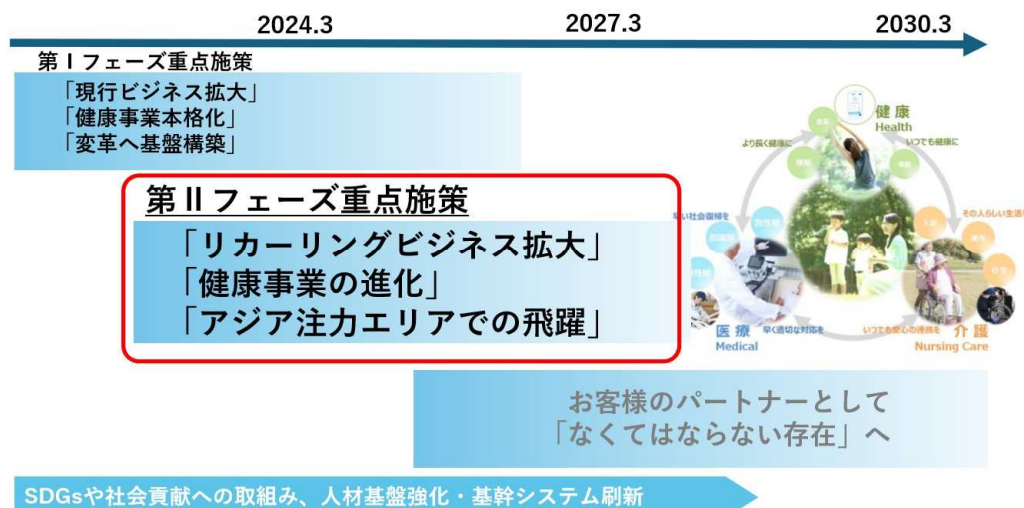


第Ⅰフェーズ期間の業績目標につきましては、2年前倒しの2022年3月期に超過し、その後も増収増益を続け、売上高、営業利益につきましては4期連続で過去最高を更新いたしました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

第Ⅱフェーズの重点施策



第Ⅱフェーズの重点施策は記載のとおりです。

1つ目のリカーリングビジネスの拡大につきましては、ストック型のビジネスを拡大させることで、持続的、安定的な成長を目指しています。2つ目の健康事業の進化につきましては、ビジョンの達成につながる大きな目標です。3つ目のアジア注力エリアでの飛躍では、当社グループが提供する価値をアジアで浸透させ、グローバルで活躍する企業になることを目指しています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

重点施策ビジネスの状況



第Ⅱフェーズ注力分野ビジネスが着実に拡大

この3つの重点施策については、第Ⅰフェーズ期間においても着実に拡大し、次の成長に向けた土台を築くことができたと評価しています。

それでは次に、重点施策の取り組み内容について、それぞれご説明いたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

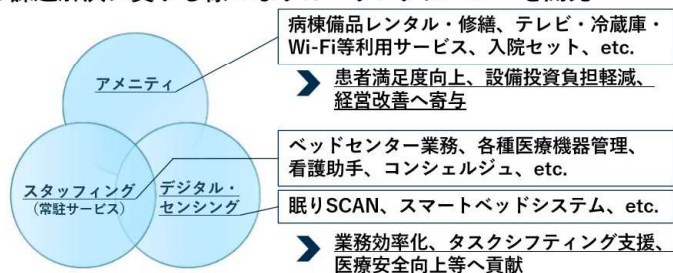
リカーリングビジネス拡大（医療事業）

医療機関との継続的な関係強化で病院経営のパートナーを目指す

医療機関を
取り巻く環境

働き方改革に伴う労働力不足、各種費用の高騰、
コロナ後の患者数減に伴う収入減、医療DX推進

●課題解決に資する様々なリカーリングメニューを開発



病院ごとに最適なサービスを
組合せて提供

➤ 契約病院数の拡大×契約単価の拡大

主なKPI

常駐サービス契約病院数

113病院 ➤ 150病院～
2024.3 2027.3

スマートベッドシステム導入病院数

46病院 ➤ 150病院～
2024.3 2027.3

まず医療事業のリカーリングビジネスについてです。国内の病院経営を取り巻く環境は、コロナ対策補助金の削減に加え、2024年4月から開始された医師の働き方改革に伴う労働力不足への対応が大きな課題となっている他、光熱費や資材調達費用などが高騰し、負担が増大するなど、大変厳しい状況です。

当社はこれまで長年にわたり、看護師をはじめとする医療スタッフの業務効率化や医療機関の経営改善に貢献するリカーリング型メニューの開発に注力してまいりました。現在では、スライドのよう大きく3つの価値を提供しています。

1つ目は、アメニティです。病棟備品レンタルやテレビ、冷蔵庫、Wi-Fi環境、入院セットなどを提供しています。近年では、入院する際に自前のスマートフォンやタブレット端末を持参する一方で、着替えや洗面具などを持たずに、できるだけ身軽に入院したいというニーズが増えていることに対応しています。患者満足度の向上や設備投資負担の軽減など、病院の経営改善へ貢献できるさまざまなサービスの提供を目指しています。

2つ目のスタッフینگは、医療従事者の皆様がそれぞれの専門業務に専念できるよう、当社ならではのスキルを持つ人材を病院に常駐させて、さまざまな面でサポートするサービスです。ベッド

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

をはじめとした病棟備品はもちろん、他社製品を含めた医療機器の管理や、看護助手業務、総合受付業務、コンシェルジュサービスなどを展開しています。

3つ目のデジタル・センシングは、眠り SCAN をはじめとした製品を活用して、看護師などの医療従事者の業務効率化や医療安全に寄与するものです。中でも当社のスマートベッドシステムは、バイタルサインを計測する各種センサーなどの ICT 機器を、ベッドサイド端末を通じて電子カルテなどとも連携することで、患者のさまざまな情報を正確かつ効率的に管理、共有できるシステムです。

医師の働き方改革への取り組みに合わせて評価され、既に 46 病院に導入しているだけでなく、今後の導入に向けた商談も数多く進んでいます。

これらのリカーリングビジネスを、病院用ベッドで高いシェアを持つ当社グループだからこそ差別化でき、優位性を持って提供できるものと考えています。個別の課題やニーズに対して最適に組み合わせ提供することで、医療機関との継続的な関係を強化し、病院経営の真のパートナーとなることを目指します。

第IIフェーズでは、スタッフィングを提供する常駐サービス、契約病院数と、スマートベッドシステムの導入病院数を、それぞれ 150 以上に拡大させることを目標としています。また、1 病院当たりの契約メニューの拡大も併せて目指してまいります。

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



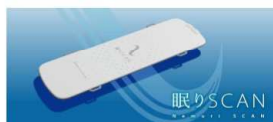
リカーリングビジネス拡大（介護事業）

眠りSCAN普及の加速と売り切り型からリカーリングへの転換へ

介護分野を
取り巻く環境

高齢者人口増加、働き手不足、光熱費の高騰、
社会保障費用の増大、介護DX推進

●介護施設向け：眠りSCAN・CONNECTを軸に介護DX推進へ貢献



●在宅介護向け：総合力を強化してレンタル卸の利用者数を拡大

- ・レンタル卸拠点・配送網の効率化
- ・M&Aによる拡大加速
- ・オリジナル商品の拡充
- ・ベッドの進化



主なKPI

眠りSCAN累計販売数

20.2万台 ➤ 35万台～
2024.3 2027.3

眠りCONNECT契約施設数

177施設 ➤ 2,500施設～
2024.3 2027.3

レンタル卸利用者数

55.3万人 ➤ 70万人～
2024.3 2027.3

次に、介護事業のリカーリングビジネスについてご説明いたします。

介護分野におきましても、労働力不足が大きな課題となっています。当社の眠りSCANが介護施設における業務効率化に有効であると評価いただき、拡大してきました。これからも普及拡大を進め、累計35万台以上を目指します。

また、先ほどもお話ししましたとおり、昨年10月から眠りSCANをクラウド上で管理できる見守り支援システム、眠りCONNECTの提供を開始しました。このシステムは、例えば複数の施設を運営する法人において、全ての施設の入居者の状況を一括で表示したり、分析することができます。

また、他社製品も含めたさまざまなセンサー、システムと連携ができるような拡張性を持たせておりますので、眠りSCANで検知できる睡眠、心拍、呼吸に加えて、体重、排せつなどの情報や、温度、湿度などの居室環境などを一元管理することが可能になります。さらに、AIも活用することで、施設全体の介護の質と生産性向上につなげる計画です。いわば、介護DXのプラットフォームとなることを目指しています。この眠りCONNECTの契約施設数は、3年後に2,500以上を目指します。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

在宅介護向けのリカーリングにつきましては、レンタル卸事業を引き続き拡大してまいります。2月には、関東でレンタル卸を行っている SMFL レンタル株式会社の介護事業部門の買収を発表いたしました。7月から連結対象となる予定です。このような M&A は今後も進めていきたいと思えます。また、現在 55 万人いるレンタル卸のエンドユーザー数を、3 年後、70 万以上にすることを目指します。

健康事業の進化

PARAMOUNT BED HOLDINGS

成長再加速に向けてラインアップ・マーケティングを強化

健康事業分野を取り巻く環境

睡眠負債大国日本、スリープテック拡大、健康意識の高まり、健康経営への取り組み強化

●主力2ブランドを軸に新CM放映など認知向上を目指す

INTIME
Produced by PARAMOUNT BED

Active Sleep
2024年4月に新モデルを発売

新CMは↓こちら



主なKPI

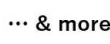
健康事業売上高

22億円 2024.3 → 50億円 2027.3

健康事業向けベッド販売台数

0.8万台 2024.3 → 2万台~ 2027.3

●関連会社やCVC出資企業を軸とした健康分野の新事業を創出



CVCの詳細はこちら→



© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

21

次に、健康事業をご説明いたします。

日本においては、健康意識が高まってきている一方で、睡眠時間が世界で一番短く、睡眠負債大国とも呼ばれている状況です。こうした分野に対して、医療・介護で培った快適な起き上がりを支える電動ベッドの技術や、睡眠状況を検知できるセンサー技術を活用した製品・サービスを提供してまいりました。

私は常々、電動ベッドに対する、病気になったら使うものという負の印象を払拭したいと思っています。寝るときに角度を付けることで自然と横隔膜が下がり、呼吸が楽になって、入眠しやすくなるというエビデンスがあります。電動ベッドを使うことで、より生き生きと、活力のある生活を送っていただき、さらには健康寿命の延伸にもつながることを目指しています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

昨年は「人生にチカラをくれる電動ベッド」INTIME シリーズで新製品を発売し、新しいコンセプトでプロモーション活動を進めています。また本年4月には、眠りの自動運転ベッド、Active Sleep BED のフルモデルチェンジを行いました。ベッド上でよりリラックスしたポジションが取れる機能を追加した他、自動運転機能も進化しています。

このモデルチェンジに合わせてプロモーション動画を新たに制作しました。電動ベッドをより身近に感じてもらえる内容にしております。テレビ媒体の他、SNS 等を活用して、認知向上を図っていくなど、マーケティング活動を強化することで、このベッドの価値を訴求していき、事業拡大を目指していく考えです。

また、2022 年からスタートした CVC ファンド、PARAMOUNT BED Healthcare Fund の出資先などとも協力しながら、この健康事業分野における新事業創出にも引き続き取り組んでまいります。3 年後の売上高 50 億円を掲げて、医療・介護に次ぐ第3の柱へと成長させてまいります。

アジア注力エリアでの飛躍

PARAMOUNT BED HOLDINGS

注力国（インドネシア・中国・インド）でのエリアマネジメントを強化

海外事業分野を取り巻く環境

アジアの人口増加・経済成長、医療インフラの拡大、自国産業の保護、競合環境の変化

●各国のニーズにマッチしたラインアップを拡充

ローカライズモデルからフラッグシップモデルまで
第IIフェーズは第Iフェーズ比で2倍のベッド機種を投入



新インド工場完成予想図

●生産能力強化・品質向上の取り組み

- ・インドに新工場（2024年内稼働予定）
⇒内製化率向上・生産能力倍増
- ・インドネシアに新塗装ラインを導入
⇒ダブルコーティングによる品質向上
- ・第Iフェーズに中国工場の溶接ロボットを拡充
⇒溶接工程の自動化率90%超で稼働

主なKPI

海外売上高

106億円 2024.3 ➡ 150億円 2027.3

海外向けベッド販売台数

4.5万台 2024.3 ➡ 7万台 2027.3

WELL-BEING for all beings

22

次に、アジア注力エリアでの飛躍です。人口規模が大きく、今後病床数の増加や、ベッドの高機能化が見込めるインドネシア、中国、インドを注力エリアとして、病院向けのベッドを中心とした医

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

療機器、病棟備品の販売においてシェアを高めていきます。旧型のローカライズモデルから、さまざまな機能を備えたフラッグシップモデルまで、製品投入を加速させてまいります。

この第Ⅱフェーズの3年間は、第Ⅰフェーズの4年間と比べて2倍のベッド機種を投入します。さらに、現地ニーズに合わせたきめ細やかなエリアマネジメントを行っていく考えです。また、この戦略を支える生産・品質面における取り組みも併せて行っていく考えです。注力エリアの各国では、近年、自国産業の優遇政策が進んでいます。当社は、それぞれの国に生産工場があることが、特にグローバルプレーヤーと比べた際のアドバンテージにつながっていると思っています。

さらにインドでは、今よりも生産能力を倍増し、内製化率を向上して、コスト競争力の高い生産体制を構築する新工場を建設しておりまして、年内の稼働を目指しています。インドネシアや中国でも、品質や生産性を向上する取り組みを随時行っており、さらに総合力を高めていく計画です。ラインフェーズ最終年度には、海外売上高 150 億円を目指します。

経営指標

PARAMOUNT BED HOLDINGS

(単位: 億円)	2024.3実績	2025.3予算	2027.3目標	2024.3比
売上高	1,060	1,120 ➤	1,200	+ 13 %
リカーリング取扱高 ※1	340	382 ➤	450	+ 32 %
営業利益	138	140 ➤	170	+ 23 %
EBITDA ※2	235	250 ➤	290	+ 23 %

※1 リカーリングビジネスで獲得するキャッシュの合計額。より実態を表す指標として採用。

※2 営業利益と減価償却費の合計で算出。業態の変化を踏まえ、さらなる成長投資を促進する指標として採用。

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

23

次に、第Ⅱフェーズの数値目標をご説明いたします。

経営指標といたしましては、売上高、リカーリング取扱高、営業利益、EBITDA の4つを掲げました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

まず売上高と営業利益につきましては、2022 年に開示した目標のとおり、2027 年 3 月期の売上高 1,200 億円、営業利益 170 億円を目指してまいります。残りの 2 つは、今回新たに追加いたしました。リカーリング取扱高は、第 II フェーズにおける重点施策の一つであるリカーリングビジネスで獲得するキャッシュの合計額で、このビジネスの状況を表す指標として採用しました。3 年後に 450 億円を目指してまいります。また、リカーリングの拡大に伴って、ストック型の割合が増加するなど、当社グループの業態が変化し続けています。

そのような変化を踏まえ、過去に投資した結果としての稼ぐ力と、今後のさらなる成長投資の原資を稼ぐための指標として、EBITDA を掲げました。この EBITDA は、営業利益と減価償却費の合計で算出した数値を用いています。今期予算は前期比で 15 億円増の 250 億円、3 年後の目標は 290 億円を目指します。EBITDA マージンは 22% から 24% の水準をキープしていく計画です。

主要3事業の売上目標



(単位: 億円)	2024.3実績	2025.3予算	2027.3目標	2024.3比
医療事業	406	427 ➤	500	+ 23 %
介護事業	613	634 ➤	650	+ 6 %
健康事業	22	40 ➤	50	+ 127 %

主要 3 事業の売上目標は、24 ページに記載のとおりです。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



海外注力エリアの売上目標

(単位：億円)	2024.3実績	2025.3予算	2027.3目標	2024.3比
インドネシア	28	35 ➤	45	+ 61 %
中国	35	36 ➤	45	+ 29 %
インド ※	17	19 ➤	25	+ 56 %
※非連結の現地法人を含むインド国内向けの売上額を記載。連結売上高とは異なります。				
連結海外売上高	106	115 ➤	150	+ 41 %

次のページでは、アジア注力エリアの売上目標をまとめています。なお、インドは現在、非連結を含めた国内向けの売上額を記載していますが、第Ⅱフェーズ中の連結化を目指してまいります。連結の海外売上高は、第Ⅰフェーズ最終年度と比べて41%増の150億円を目指します。

サポート

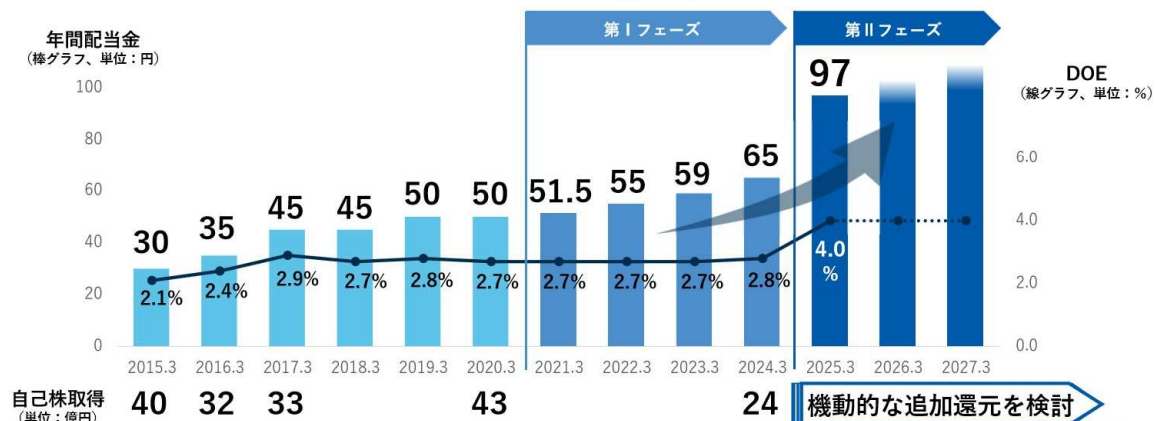
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

株主還元

新配当方針

DOE4.0%・配当性向50%を目安

共に成長を実感いただける還元政策を推進。



WELL-BEING for all beings

26

次に、株主還元についてご説明いたします。基本的な考え方としましては、医療や介護分野を継続的にサポートする企業として、将来の不測の事態に備えた強固な財務体質を維持するとともに、事業投資を積極的に行いながら、株主の皆様へ成長と共に実感いただける還元政策の下、配当金額を決定しております。

過去を振り返りますと、こちらのスライドにあるとおり、10年以上にわたって累進的な配当を実施してまいりました。今後につきましては、5月13日に発表いたしましたとおり、配当金額の水準を見直すことといたします。具体的には、従来はDOE2.7%および配当性向30%としていましたが、今期からは、DOE4%および配当性向50%を目安といたします。これにより、今期の年間配当金は、前年に比べて1株当たり32円増配の97円となる見込みです。また、株価や市場環境の変化を総合的に勘案しながら、必要に応じて機動的な追加還元を随時検討してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

キャッシュアロケーション

第Ⅱフェーズ期間累計



株主還元

配当は純資産配当率(DOE)4.0%と配当性向50%を目安
市場環境等を勘案した機動的な追加還元を検討

成長投資

顧客との継続的な関係を強化するリカーリング資産
生産設備や福祉用具メンテナンス設備増強／新基幹
システム導入促進
事業発展に向けたCVC投資などを含めた他社連携を
積極的に展開

<手元資金水準の考え方>

月商約3か月分の運転資金

- + 災害等発生時においても医療・介護に貢献する
製品やサービスを継続的に提供できる体制の維持

次のページでは、第Ⅱフェーズ3年間のキャッシュアロケーションプランについてまとめました。
将来の成長に向けて、ストック型ビジネスへの転換を図るための投資を継続していく他、CVCを
通じた投資も積極的に行ってまいります。キャッシュアウトの超過分につきましては、手元資金で
充当する考えです。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

2025年3月期 業績見通し

増収営業増益 上期減益予算も通期では過去最高を更新

(単位: 百万円)	2024.3 通期	上期	2025.3 下期	2025.3 通期	前期比
売上高	106,016	51,000	61,000	112,000	+5.6%
営業利益 (営業利益率)	13,818 (13.6%)	5,200 (10.2%)	8,800 (14.4%)	14,000 (12.5%)	+1.3%
経常利益 (経常利益率)	15,920 (15.0%)	5,450 (10.7%)	9,050 (14.8%)	14,500 (12.9%)	-8.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (純利益率)	10,622 (10.0%)	3,850 (7.5%)	6,250 (10.2%)	10,100 (9.0%)	-4.9%

次に、2025年3月期の業績見通しについてご説明いたします。連結売上高は、前期比5.6%増の1,120億円、営業利益は1.3%増の140億円を見込んでおります。一方で、前期計上いたしました為替差益は予算では織り込んでいないため、経常利益は8.9%減の145億円。親会社株主に帰属する当期純利益は4.9%減の101億円の計画といたしました。

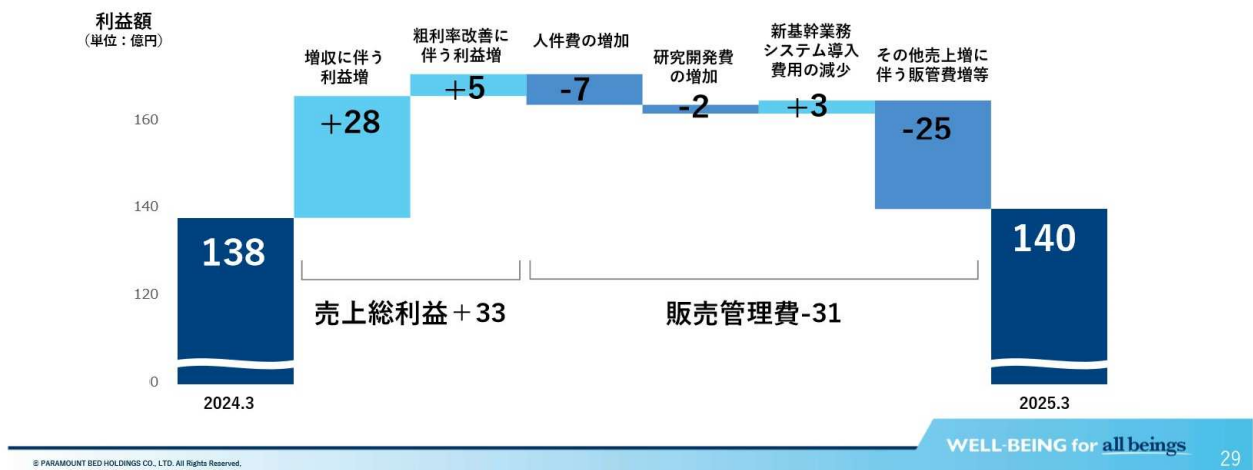
通期で増収、営業増益を見込んでいまして、引き続き過去最高を更新する計画です。なお、上半期につきましては、増収減益としております。この要因といたしましては、まず費用面において、新基幹業務システム関連費用やActive Sleep BEDのプロモーション費用、新ブランドメッセージ作成に伴う費用、研究開発費などが期初にかかってくることが影響しています。売上面に関しましては、例年と比べて案件のバランスに偏りがあり、前年に比べると第1四半期が減収減益の一方、第2四半期の3カ月で増収増益を計画しておりまして、上半期としては記載の予算となっています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

2025年3月期 営業利益増減要因

引き続きリカーリングビジネスを拡大し増益



次に、通期の営業利益増減についてご説明いたします。粗利額は、売上増および粗利率改善により33億円増加する予定です。費用につきましては、通期では、昨年導入した基幹業務システム関連費用が減少する一方で、人件費や、買収したSMFLレンタル社の介護事業部門の連結化のための費用、研究開発費などが増加いたします。販管費全体としては31億円増加する計画で、営業利益は前期比で2億円増の140億円となる見通しです。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

設備投資等

設備投資は2025.3期もERP関連投資が高水準

(単位：百万円)

	2022.3実績	2023.3実績	2024.3実績	2025.3予算
設備投資	1,822	3,653	3,643	4,425
減価償却	7,898	8,482	9,765	11,031
研究開発	1,697	1,753	1,975	2,158
従業員数 (単位：人)	3,682	3,946	4,126	-

設備投資、減価償却費、研究開発費はスライドのとおりです。設備投資につきましては、新製品金型や基幹業務システムの導入の他、IT 関連機器の更新時期が重なっておりまして、今期は若干多めの予算となっています。減価償却費の主なものは、医療事業や介護事業におけるレンタルビジネスで使用している資産の償却となります。リカーリングビジネスの拡大に伴って引き続き増加する計画です。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

WELL-BEING for all beings

当社グループはパラマウントビジョン2030「医療・介護から健康まで、すべての人に笑顔を」を掲げ、従来の医療・介護用ベッドメーカーという枠組みを超えたビジネスを拡大させています。これからも、将来に向かってさらに業態が拡大・変化していく中で、当社グループが世界中のステークホルダーに対して提供していく価値を表現したブランドメッセージ「WELL-BEING for all beings」を策定しました。

このブランドメッセージに込めた思いや世界観を表現した映像をご用意しました。
ぜひ下記リンクまたはQRコードからご覧ください。

<https://www.paramount.co.jp/brandmessage>



最後にトピックスといたしまして、先日発表した新ブランドメッセージの策定についてご説明いたします。

当社グループは、10年以上前から医療事業における常駐サービスや介護事業におけるレンタル卸などに大きな投資を行いながら成長してまいりました。また、眠りSCANやスマートベッドシステムなど、IPやデジタル技術を活用した製品・サービスの拡大に注力してまいりました。現在では、連結売上高が1,000億円を超えるまでに成長いたしました。一方で、ベッド販売の占める割合はそのうちの3分の1程度まで下がってきました。売り切り型だけでなく、ストック型のビジネスが伸長をしています。

このように業態が大きく変化しているのですが、世間では依然として当社グループのことを医療・介護用ベッドの製造販売とイメージしている方が多いと感じています。そのイメージを良い意味で払拭し、将来に向かってさらに業態を変革し、成長していくためには、世界中のステークホルダーに対して提供していく当社グループの価値を改めて理解していただくことが重要であると考えました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

それがこの新しいブランドメッセージ、「WELL-BEING for all beings」です。当社グループが考えるウェルビーイングとは、あらゆる人の健康的な日々と、より良い人生を支えるための社会インフラを作り、一人一人の生きるに寄り添い続けることです。このブランドメッセージに込めた思いや世界観を表現した映像を制作しました。ご覧ください。

映像：あらゆる人に健康的な日々とより良い人生を。その思いが、私たちパラマウントグループの原動力。今日、人生が始まる人に、第2の人生を楽しむ人に、誰かのために頑張る人に、誰かの話をよく聞く人に、どんなときも前向きな人に、未来に向かって学ぶ人に、チームで働く人に、自分のために頑張る人に、この世界に生きるあなたに。あなたに。あなたに。そして、あなたに。

パラマウントグループは、一つ一つの生きるに寄り添う、そして、それぞれの幸せの日々をそっと支えていく。医療と介護の領域で培ってきた確かなテクノロジーと優しさで、私たちは今日も挑み続ける。全ての人生に、全ての日々に、全ての瞬間に、さあ、ウェルビーイングを。WELL-BEING for all beings。パラマウントベッド。

木村：ご覧いただきましたように、このメッセージの all beings の部分を置き換えることで、当社グループのステークホルダーの多様性を表現しています。まさに全ての人に笑顔をとというパラマウントビジョンにつながるメッセージになっているのではないかと考えています。今後ますます変化、多様化する社会課題や顧客ニーズに対して、グループが一丸となって新たな解決策を提案し続けていくことで、さらなる社会貢献と企業価値向上を目指してまいります。

以上で、私からのご説明を終了させていただきます。ありがとうございました。

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用をしてはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com